

キンチャマイグチ(イグチ科)

兵庫県：要調査種

Leccinum versipelle (Fr. & Hök) Snell

環境省：情報不足

種の概要

傘は径4~10(~20)cm、まんじゅう形、縁には管孔部から5mmぐらい突出して垂れ下がった縁膜片がある(古い傘ではしばしば脱落)。表面は湿るとやや粘性があり、類綿毛状、帯褐橙黄色。肉は白色(柄の基部では帯緑色~青色)、空気に触れると淡紅色から暗灰色に変わる。夏~秋、カバノキ林内の地上に単生~群生し、食用。



写真提供：平山吉澄

国内分布

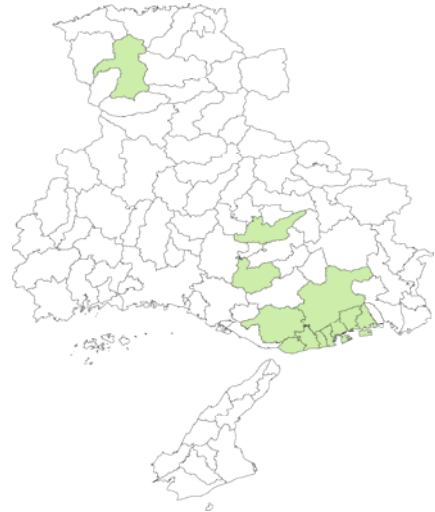
兵庫、他不明

県内分布

神戸市、村岡町、小野市、西脇市

選定理由

人為性		特殊性		学術性		
生育環境破壊	観賞用等採取	特殊生育環境	特異な生態	特殊な分布	分布の限界	希少
○		○				○



特記事項

全国的にも発生は珍しいキノコで、県内ではヤマナラシ属(*Populus*)と共生する外生菌根菌。ヤマナラシ自体が少ないため発生は少ない。

保護上の留意点

発生地での保全。ヤマナラシの保全